

## 会議録

会議の名称	平成29年度第1回行財政改革推進委員会
開催日時	平成29年5月24日（水） 9時00分から10時15分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：横道清孝委員長 原田久副委員長 鈴木文彦委員 中村良二委員 伊藤俊介委員 牧野美佐子委員 事務局：飯島企画部長 古厩企画政策課長 萱野財政課長 柳沢企画部主幹 高橋企画部主幹 直井企画部副主幹 近藤企画政策課主査 田中財政課主査 南企画政策課主任
欠席者	委員：駿河修委員 渡辺文子委員
議題	1 平成29年度西東京市予算の概要 2 第4次行財政改革大綱の取組について 3 行政評価制度について 4 その他連絡事項
会議資料の名称	資料1 平成29年度西東京市予算の概要 資料2 第4次行財政改革大綱アクションプラン（平成29年度版）の概要及びアクションプラン（冊子） 資料3 第4次行財政改革大綱の進行管理について 資料4 行政評価制度について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○発言者名： 発言内容</p> <p>《開会》</p> <p>○横道委員長： 定刻となりましたので、平成29年度第1回行財政改革推進委員会を開催いたします。 議題に入る前に事務局より報告があります。</p>	

○事務局：

4月1日付け人事異動に伴い、事務局職員の紹介をさせていただきます。

《事務局職員自己紹介》

#### 議題1 平成29年度西東京市予算の概要

○横道委員長：

それでは議題1の平成29年度西東京市予算の概要について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料1に沿って説明》

○横道委員長：

平成29年度西東京市予算の概要について説明がありました。

市税の税収が前年度比で0.7%の伸び率を示している一方で、財政調整基金において多額の取崩しを余儀なくされ、非常に厳しい予算編成との印象を受けますが、主な要因は何でしょうか。

○事務局：

市税の増収額が2億円程度であったのに対して、一般会計予算における歳入科目の第3款から第7款までの、いわゆる税連動交付金の減収額が6億円を超えたことが、大きな要因と考えます。税連動交付金は国の経済情勢に左右される不安定な財源ですが、予想を超えた減収額となっています。

○鈴木委員：

ふるさと納税による税収への影響はどの程度でしょうか。

○事務局：

ふるさと納税による減収額は1億4千万円程度となっており、本市にとっては大きな影響が出ています。減収額の75%が地方交付税における基準財政収入額から減額されるため、その分は地方交付税という形で反映される仕組みとなっていますが、実額が保障されたものではありません。

○牧野委員：

西東京市の人口が20万人を突破したことは税収増に寄与しましたか。

○事務局：

人口増加に伴う納税義務者の増加が税収増の要因となる一方で、人口増加による行政需要及び行政運営コストが増える側面もございます。

○横道委員長：

他に質問・意見等がなければ、次の議題に入ります。

## 議題2 第4次行財政改革大綱の取組について

○横道委員長：

それでは議題2について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料2、3に沿って説明》

○横道委員長：

第4次行財政改革大綱の進行管理等について説明がありました。

行財政推進委員会においては、平成29年度末から平成30年度上半期にかけて行財政改革大綱の基本方針の中間見直しについて審議していくこととなります。

ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

○伊藤委員：

平成29年度アクションプランの取組における「適正化」・「見直し」という表現について、基本的に「適正化」は使用料等の値上げ、「見直し」は市の負担を減らすという理解でよろしいでしょうか。

○事務局：

受益者負担の適正化については、原価計算や受益者の負担割合等を考慮し、原価との乖離が大きい場合には見直しを行い、受益者と非受益者との負担の公平性を確保することを目的としており、値上げだけでなく、値下げについても検討し、適正化を図るものです。

○伊藤委員：

アクションプランの基本方針Ⅱに掲げる「選択と集中による適正な行政資源の配分」とは、具体的にどのような施策に対して資源の配分を傾斜させ、集中投下することを想定していますか。

○事務局：

選択と集中については、総合計画における重点施策等を中心に、今年度実施する施策評価において、重点化すべき施策分野を特定するとともに、行財政改革の取組による財源の確保や各施策の満足度・重要度等を勘案し、資源配分の最適化を図っていきます。

○原田副委員長：

総合計画の中で各施策の選択と集中が行われ、重点化する施策があるのだと思います。行財政改革は選択と集中を行うための取組で、改善や見直しの必要な部分を整理して財源を確保するというのが目的だと思います。

○鈴木委員：

行政運営コストの算出にあたり、公会計制度を活用することが有用であると考えられますが、西東京市における公会計制度の活用の見通しについて伺います。

また、人口20万人以上の自治体を対象に、国からPPP/PFI優先的検討規程の策定を要

請されていると思われませんが、西東京市の対応状況について伺います。

○事務局：

西東京市においては、平成28年度決算から公会計制度を導入し、年内には統一基準による財務書類の作成・公表を予定しています。公会計制度の活用については、現在、庁内で議論しています。

PPP/PFI優先的検討規程については、人口20万人以上の自治体を対象に、国からは平成28年度末までの策定を要請されていたところですが、西東京市の人口が20万人を突破したのが平成28年度末であったことから、現状では規程の策定には至っておりません。しかしながら、PPP/PFIの優先的検討による公共施設の適正管理と民間の資金・ノウハウの活用は非常に重要な視点であると考えており、今後庁内で議論を行い、次期の公共施設等総合管理計画の改定にあわせ、検討していきたいと考えています。

○鈴木委員：

地方公会計制度は、適正な原価計算やファシリティマネジメントの手段として具体化しないと活用が難しいので、十分な検討をお願いします。

PPP/PFI優先的検討規程についても、今後、公共施設の複合化やパークマネジメントといった視点で活用できると思いますので、検討を進めていただきたいと思います。

○横道委員長：

他に、ご質問・ご意見等がなければ、次の議題に入ります。

### 議題3 行政評価制度について

○横道委員長：

それでは議題3について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料4に沿って説明》

○横道委員長：

今年度の行政評価制度の取組等について、事務局より説明がありました。

事務事業評価では、行財政改革推進委員会においても外部評価という形で関わってきましたが、これまでの成果・課題をふまえ、より効果的な行政評価制度となるよう、制度の再構築を図るとのことです。

今年度の取組及び行政評価制度の見直しについて、ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

○原田副委員長：

現在の行政評価制度を根本から変えずに再構築ということであれば、評価手法の簡素化と評価に係る事務負担の軽減という視点で、事業の予算規模により評価対象事業を絞るなど、より効率的に運用するということになるのではないかと思います。

○横道委員長：

行政評価自体のコストパフォーマンスを考え、いかに簡素化するか、ということも重要だと思います。

○鈴木委員：

公会計制度を活用することで、各事業の原価計算の精度が高まると思います。

金融機関では、事業を格付けして、機械的に何点以上であれば継続、以下であれば廃止といったスコアリング調査を行っています。これを行うには判断基準の明確化と精緻な原価計算が必要となりますが、コストパフォーマンスの高い選択と集中を行うには有効と考えます。

○伊藤委員：

大学においても様々な評価制度があり、評価実施に伴う負担が増えていますので、事業規模や課題の大きいものを抽出して評価するなど簡便にしたほうが良いと思います。

また、自治体では経費はかかっても継続する必要がある事業も多いと思うので、事業の性質により、機械的に評価対象から外すと言ったことも必要と考えます。

○事務局：

行政評価制度の再構築については、公会計制度の効果的な活用や評価対象事業の抽出方法など、他市事例も参考にしながら、庁内においても検討しつつ、より簡素で効果的な制度の構築に向けて、次回の委員会でも引き続きご議論いただきたいと考えております。

○横道委員長：

他にご質問、ご意見等なければ、次の議題に入ります。

#### 議題4 その他連絡事項

○横道委員長：

それでは議題4「その他連絡事項」ですが、事務局から何かございますか。

○事務局：

次回の委員会の開催日程につきましては、改めて調整させていただきますが、11月頃の開催を予定しております。

次回の委員会では、平成28年度決算の概要、アクションプランの取組結果の報告と合わせて、行政評価制度の見直しについて引き続き議題とさせていただきます。

○横道委員長：

最後に、委員の皆様から何かございますか。

特になければ、以上をもちまして、平成29年度1回行政改革推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。